

四万十川とトンボから考える 「自然」と「人」との共生のかたち



四万十市



↑ ハナショウブスキ刈り (5月)

スイレン抜き (2月) →

プログラムの流れ

20分

【座学】
○トンボと自然を考える会の活動について

60分

【フィールドワーク】
○活動の手伝い (季節により異なる)
・左記の他、ミドリガメ捕獲、タニシのタマゴ落とし、イネ科の植物抜き等々
○生き物探しゲーム/レベル5

50分

【座学】
○まとめの講義
○生徒から感想や目標などの発表

30分

○館内見学
○生き物探しゲーム表彰式



プログラムの教育効果

かつて共存していた自然や生き物を再発見することで、四万十川が流れるこの土地に根付いた自然と人が共に暮らすという文化は、昔の生活様式からつながっていることを知り、「里山」から流れてきた水が「川」から「海」へ注いでいくストーリーを学ぶことで、**自分たちが大人になり次の世代へ美しい形でバトンを渡すためにこれから何ができるかを考えます。**

- 当日必要なご用意いただくもの
 - ・動きやすい服装/運動靴
 - ・帽子/日焼け止め
 - ・雨具、タオル (汗拭き用)

- 体験プログラムに含まれるもの
 - ・入館料
 - ・賞品 (1位~3位のチーム)



プログラムの概要・目的

「そっとしておけば優れた自然環境はずっと良好な状態が保たれる」と思われていますが、実は、生物多様性に優れた日本の里山環境は、人手を加えることが不可欠なのです。ここは世界初の本格的トンボ保護区で、トンボを題材に里山の生態系について学びます。

- 【実施場所】 四万十川学遊館/トンボ王国
- 【実施団体】 (公社) トンボと自然を考える会
 - * 環境省選定重要里地里山
 - * 第2回日本水大賞グランプリ受賞 他
- 【受入窓口】 (一社) 幡多広域観光協議会
 - ☎ 0880-31-0233 (担当: ひがし)

定員	20~80名まで (80名以上は要相談)
設定期間	通年
所要時間	約3時間00分

アクセス 黒潮拳ノ川ICから車で約45分

体験料金の一部をトンボと自然を考える会のトンボ保護区を守る活動に寄付します